

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月22日 更新

事務事業名		フツ化物洗口事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	5 健康づくりの推進				所属課	学校教育課	担当者名	中嶋 美智代
	施策の柱	20 病気の早期発見				所属班	学務指導班	(内線)	2225
予算科目		会計一般	款10	項1	目3	事業連番11647	根拠法令	熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 27 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県歯及び口腔の健康づくり基本条例に基づき、市内小中学校の児童生徒を対象として、フツ化物を用いたむし歯予防事業 【事業の内容】市内小中学校の児童生徒を対象としたフツ化物洗口。フツ化物洗口に伴う薬剤、消耗品等の購入。洗口の準備・片付け・実施の円滑な遂行のため補助員を3名配置する。
【業務の流れ】	実施希望調査、処方指示書、洗口液・消耗品（購入と配布）、洗口実施、実施報告書作成
【主な予算費目】	医薬材料費、消耗品費、補助員費
【意見や要望】	フツ化物洗口事業が、保育園からの継続実施になる児童もいるので保護者から喜ばれている。教職員等の協力もあり、順調に実施することができている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 平成27年9月より全校実施を開始した。年度始めに実施希望調査を行い、毎週全校でフツ化物洗口の実施。フツ化物洗口に伴う薬剤、消耗品等の購入。洗口の準備・片付け・実施の円滑な遂行のため補助員を3名配置する。		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 28年度は熊本地震の影響により実施が多少遅れたが、29年度は5月より全学校でのフツ化物洗口事業を実施する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 児童生徒数	人	28年度に専用車を購入したことに伴う備品購入費の減額
→ イ 実施回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校児童生徒	人	→ ア 小学校児童数
	人	→ イ 中学校生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
口腔の健康意識が高まり、むし歯の保有率が低下する。	人	→ ア 洗口実施児童数
	人	→ イ 洗口実施生徒数
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
むし歯予防の観点より、義務教育期のフツ化物洗口が最も高い効果が得られるため、実施を希望する児童生徒数を設定の理由とした。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
投 入 費 量	事業費	① 活動指標	人		5,567	6,358	6,365	6,520	6,670	6,970
		イ 回		23	40	34	40	40	40	40
		② 対象指標	人		3,951	4,423	4,453	4,530	4,630	4,830
		イ 人		1,616	1,935	1,912	1,990	2,040	2,090	2,140
		③ 成果指標	人		3,951	4,423	4,002	4,530	4,630	4,830
		イ 人		1,616	1,935	1,514	1,990	2,040	2,090	2,140
	人件費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円		994	1,395	1,200	1,145	1,395	1,395
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
入 費 量	(A) 事業費計	一般財源	千円		4,701	6,780	6,133	5,050	5,500	5,500
		(A) 事業費計	千円		5,695	8,175	7,333	6,195	6,895	6,895
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人		2	2	2	2	2	2
人 件 費	(B) 人件費計	延べ業務時間	時間		442	400	260	400	400	400
		(B) 人件費計	千円		1,641	1,593	0	1,593	1,593	1,593
		トータルコスト(A)+(B)	千円		7,336	9,768	7,333	7,788	8,488	8,488

事務事業名	フッ化物洗口事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した 平成27年9月より、小中学校全校でフッ化物洗口事業を実施することができた。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 小中学校教職員、保護者に対する事業への理解と定着を進めていく。むし歯予防への意識を高める。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 幼児期に健診でのフッ化塗布事業、保育園でのフッ化物洗口実施に続き、小中学校でも継続して行われることになり、更にむし歯予防への意識が高まるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 県の条例に基づき行うため統廃合はできない。他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 小中学校では、平成27年から始まった事業であり、フッ化物洗口法の定着を進めるため、指導内容を充実させる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 洗口実施が学校内で完結でき、定着を進めるために指導員は必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 義務教育である小中学生の健康保持を図るため適切である。また、学校内で行われるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 洗口実施については、県の条例・マニュアルに基づき実施しているため、他の団体への事業移行はできない。役割分担は、適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

県の条例に基づき、実施していく事業であり、学校内での定着を図る。また、この事業を機会に家庭でのむし歯予防の意識を高める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								